

2007年1月9日

報道各位

住友金属鉱山株式会社  
住友商事株式会社

## セロ・ベルデ銅鉱山における銅精鉱の生産開始について

住友金属鉱山株式会社（本社：東京都港区 社長：福島 孝一）と住友商事株式会社（本社：東京都中央区 社長：岡 素之）（以下両社をあわせて「住友」という。）が共同で出資しているセロ・ベルデ銅鉱山（ペルー共和国アレキパ州）は、この度硫化鉱開発プロジェクトからの銅精鉱の生産を開始し、第一船目の銅精鉱約9,500トン在住友金属鉱山に向けて出荷しました。

セロ・ベルデ銅鉱山では、国際協力銀行をはじめとする各国銀行団からのプロジェクトファイナンスも得て、硫化鉱開発のための建設工事を進めておりましたが、かかる大規模な建設工事としては異例の速さで昨年11月に選鉱ラインの一部稼働による生産を開始しました。その後12月にはすべての設備が完成し、本年前半に予定しているフル生産達成に向けて試験操業を行っています。同鉱山では、SX/EWプロセスにより電気銅を年間約9万トン生産しておりますが、硫化鉱開発プロジェクトのフル生産移行により精鉱も含めた生産銅量は年間約27万トンとなり、今世紀に入って最初の大型銅鉱山拡張に当たるものといえます。

住友は2005年6月にセロ・ベルデ銅鉱山の株式21%を取得し、これにより同鉱山で生産される銅精鉱の50%を10年間にわたって買い取る権利を保有しています（11年目以降は出資比率見合いでの買い取り権を有す）。

住友としては今後ともセロ・ベルデ銅鉱山における硫化鉱開発プロジェクトの円滑なフル生産移行に向けて全力を傾注してまいります。

以上

（本件に関するお問い合わせ先）

住友金属鉱山株式会社

総務部広報室 大場 浩正

TEL：03-3436-7705

FAX：03-3434-2215

住友商事株式会社

広報部 報道チーム 寺島 英之

TEL：03-5166-3100

FAX：03-5166-6203

(参考資料)

## セロ・ベルデ社及びセロ・ベルデ銅鉱山の概要

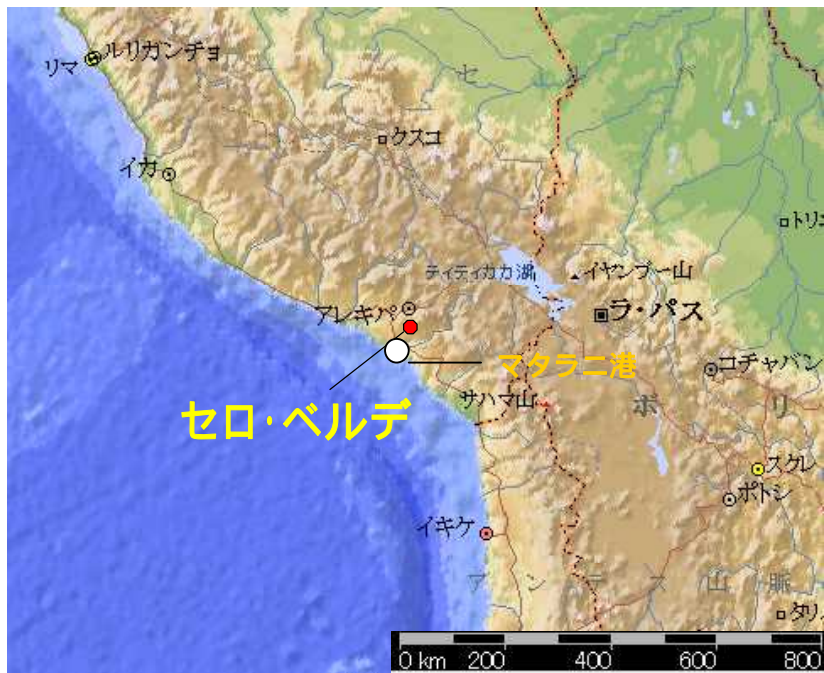
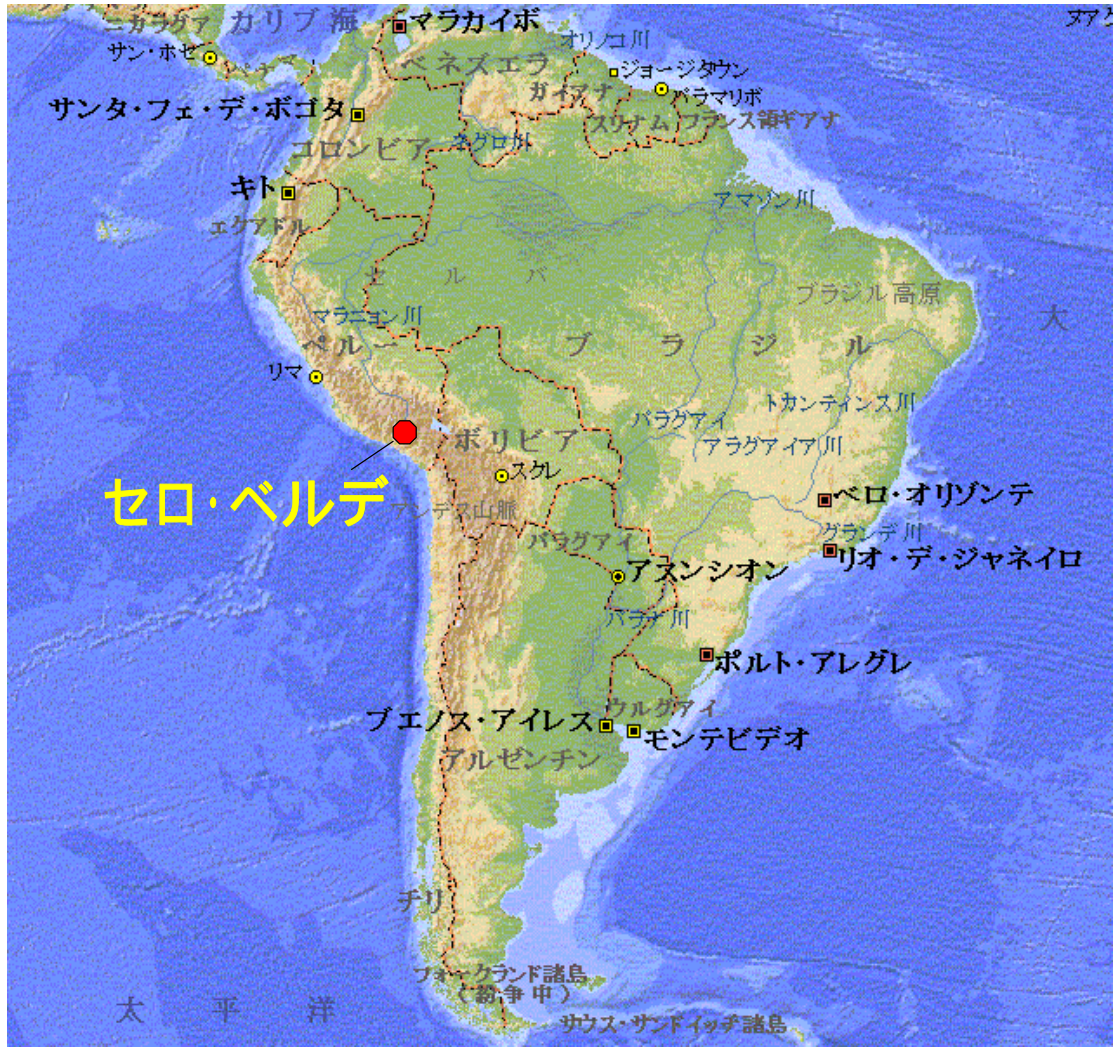
1. セロ・ベルデ社（セロ・ベルデ銅鉱山の運営会社）の概要
  - ・ 所在 ペルー共和国アレキパ州アレキパ市
  - ・ 社長 John Broderick
  - ・ 株主構成 SMM Cerro Verde Netherlands 社 21%、フェルプスドッジ社 53.6%、プエナベンチャーラ社 18.5%、一般株主 6.9%
  - ・ リマ証券取引場に上場
2. セロ・ベルデ銅鉱山の概要
  - 1) セロ・ベルデ銅鉱山
    - ・ ペルー南部の アレキパ 州アレキパ市の南 30km に位置する。
    - ・ 標高は海拔 2,700m、平均降水量は年間 40mm の砂漠地帯である。
    - ・ リーチ/SX/EW 法により年間約 9 万トンの電気銅を生産している。
    - ・ 従業員 660 名
  - 2) 硫化鉱床開発計画
    - ・ 鉱量 : 1,033Mt @ 0.514%Cu、0.018%Mo
    - ・ 日処理量 : 108ktpd
    - ・ マインライフ : 26 年
    - ・ 精鉱 : Cu 精鉱 656kt/y@28%Cu、Mo 精鉱 7,150t/y
    - ・ 初期投資 : 約 8.5 億米ドル
    - ・ 操業開始 : 2006 年 11 月



オープンピット



選鉱施設



地図出典：Microsoft<sup>®</sup> Encarta<sup>®</sup> World Atlas